

分類：臨床医学 VII (CC2)

授業科目名：消化器内科学 臨床実習 (Gastroenterology)

対象学年：6年次選択

時間割コード：71644006-02

1. 主任教員

飯島克則 (教授、消化器内科、6573)

2. 担当教員

飯島克則 (教授、消化器内科、6573)

後藤隆 (准教授、消化器内科、6104)

松橋保 (准教授、消化器内科、6104)

佐藤亘 (特任講師、消化器内科、6104)

小泉重仁 (講師、消化器内科、6104)

下平陽介 (助教、消化器内科、6104)

千葉充 (特任助教、消化器内科、6104)

高橋健一 (助教、消化器内科、6104)

南慎一郎 (特任助教、消化器内科、6104)

福田翔 (特任助教、消化器内科、6104)

3. 授業のねらい及び概要 (学修目標)

1. 診療参加型臨床実習 CC 2 の概要・ねらい

CC1での学習を踏まえ、チームの一員として病棟や外来患者さんへの診療を通して、将来、どのような分野の医師にも必要な内科領域、特に消化器内科を中心とした症候や病態の臨床推論、鑑別診断、検査・治療方針決定等の実践力を習得する。プロフェッショナリズム、倫理、医療行動学、医療安全、医療法(制度)、EBMについて実践的に学ぶ。

1) 病棟診療

各学生は各診療チームに配属され、指導医のもと数名の病棟患者さんを担当する。指導医の監督のもと、日々、病棟担当患者さんの回診を行い、医療面接、身体診察による課題抽出・文献検索による臨床推論、検査・治療方針の提案、日々の診療内容や他科頼診券、ウイークリーサマリー、紹介状などカルテへの記載(指導医の確認必須)、カンファレンス時の各種プレゼンテーション、患者・家族への説明への参加など、チームの一員としてEBMに基づいた基本的な診療を実践的に学ぶ。指導医とともに内視鏡検査や治療、ラジオ波焼灼療法等の見学、介助等に積極的に参加する。

2) 外来診療、各種検査、治療への参加

このような病棟の担当患者診療の合間には、外来の新患、再来患者さんの診療や各種検査、治療に参加しながら、診療チームの一員として臨床推論・検査・治療の過程を実践的に学ぶ。

2. 学修目標

上記1の概要・ねらいを中心に実習を進めるが、本診療科で特に経験保証する症候、病態、各種手技等の内容を下記に示す。

1) 症候・病態 臨床推論

(1) 黄疸 (2) 腹痛 (3) 悪心・嘔吐 (4) 食思不振 (5) 便秘・下痢・血便 (6) 吐血・下血 (7) 腹部膨隆(腹水を含む)・膨満・腫瘤

2) 基本的臨床手技

(1) 体位交換、移送ができる (2) 皮膚消毒ができる (3) 静脈採血を実施できる (4) 胃管の挿入と抜去ができる (5) 尿道カテーテルの挿入と抜去を実施できる (6) 注射(皮内、皮下、筋肉、静脈内)を実施できる (7) 末梢静脈の血管確保を実施できる (8) 診療録(カルテ)を作成する。

3) 検査手技

- (1) 腹部の超音波検査を実施できる。
- (2) 経皮的酸素飽和度を測定できる。
- (3) エックス線撮影、コンピュータ断層撮影 (CT)、磁気共鳴画像法 (MRI)、核医学検査、内視鏡検査を見学し、介助する。

4) シミュレーション教育

- (1) 腹部エコーシミュレータを用いて反復練習をすることで、臨床技能を磨く。
- (2) 腹部内視鏡シミュレータを用いて反復練習をすることで、臨床技能を磨く。

5) 医学行動科学、医療倫理、医療安全、医療法 (医療制度)、EBMI について

- (1) 各種検査・治療のインフォームドコンセント
- (2) 困難な患者 急変患者・家族への説明
- (3) 各種侵襲的な検査・治療時の安全性への配慮

本科目は実務経験のある教員による授業科目です。

4. 教科書・参考書

内科学 (朝倉書店)、内科学 (西村書店)、標準消化器病学 (医学書院)

5. 成績評価の方法

実習中の学習態度、口頭試問、miniCEX (実際の患者さんへの診療を評価)、口頭試問、学習発表会に基づいて総合的に評価する

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

- ・ 5 週間のうちの第 3 週目の 1 週間は関連病院で実習を行い、消化器内科の一般診療、腹部救急を経験してもらう (大曲厚生医療センター、市立横手病院、平鹿総合病院、由利組合総合病院。各病院 1 名ずつ)。該当する病院へは、公共交通機関を利用すること。
- ・ 授業プリントを中心に十分復習してから実習に臨むこと
- ・ 経験記録、手帳の記載を行うこと
- ・ 若干のスケジュールの可能性があるので医局で確認すること

消化器内科学 臨床実習

授 業 展 開	授 業 内 容
第 1 回 月曜日 [8:30-18:00] 副題 担当	オリエンテーション 8 : 30 南臨床棟 5 F セミナー室 クリニカルクラークシップ 消化器内科病棟 (2 - 6) 病棟担当患者の診療ほか
第 2 回 火曜日 [9:00-17:00] 副題 担当	クリニカルクラークシップ 消化器内科病棟 (2 - 6) 病棟担当患者の診療ほか
第 3 回 水曜日 [9:00-17:00] 副題 担当	クリニカルクラークシップ 消化器内科病棟 (2 - 6) 病棟担当患者の診療ほか
第 4 回 木曜日 [9:00-17:00] 副題 担当	クリニカルクラークシップ 消化器内科病棟 (2 - 6) 病棟担当患者の診療ほか
第 5 回 金曜日 [9:00-17:00] 副題 担当	クリニカルクラークシップ 消化器内科病棟 (2 - 6) 病棟担当患者の診療ほか
第 6 回 月曜日 [8:30-18:00] 副題 担当	クリニカルクラークシップ 消化器内科病棟 (2 - 6) 病棟担当患者の診療ほか
第 7 回 火曜日 [9:00-17:00] 副題 担当	クリニカルクラークシップ 消化器内科病棟 (2 - 6) 病棟担当患者の診療ほか
第 8 回 水曜日 [9:00-17:00] 副題 担当	クリニカルクラークシップ 消化器内科病棟 (2 - 6) 病棟担当患者の診療ほか
第 9 回 木曜日 [9:00-17:00] 副題 担当	クリニカルクラークシップ 消化器内科病棟 (2 - 6) 病棟担当患者の診療ほか
第 10 回 金曜日 [9:00-17:00] 副題 担当	クリニカルクラークシップ 消化器内科病棟 (2 - 6) 病棟担当患者の診療ほか
第 11 回 月曜日 [9:00-17:00] 副題 担当	第 3 週目の 1 週間は関連病院で実習を行い、消化器内科の一般診療、腹部救急を経験してもらう (大曲厚生医療センター、市立横手病院、平鹿総合病院、由利組合総合病院。各病院 1 名づつ)。該当する病院への移動は、公共交通機関を利用すること。
第 12 回 火曜日 [9:00-17:00] 副題 担当	関連病院実習
第 13 回 水曜日 [9:00-17:00] 副題 担当	関連病院実習
第 14 回 木曜日 [9:00-17:00] 副題 担当	関連病院実習
第 15 回 金曜日 [9:00-17:00] 副題 担当	関連病院実習
第 16 回 月曜日 [9:00-18:00] 副題 担当	クリニカルクラークシップ 消化器内科病棟 (2 - 6) 病棟担当患者の診療ほか

消化器内科学 臨床実習

授 業 展 開	授 業 内 容
第 17 回 火曜日 [9:00-17:00] 副題 担当	クリニカルクラークシップ 消化器内科病棟 (2 - 6) 病棟担当患者の診療ほか
第 18 回 水曜日 [9:00-17:00] 副題 担当	クリニカルクラークシップ 消化器内科病棟 (2 - 6) 病棟担当患者の診療ほか
第 19 回 木曜日 [9:00-17:00] 副題 担当	クリニカルクラークシップ 消化器内科病棟 (2 - 6) 病棟担当患者の診療ほか
第 20 回 金曜日 [9:00-17:00] 副題 担当	クリニカルクラークシップ 消化器内科病棟 (2 - 6) 病棟担当患者の診療ほか
第 21 回 月曜日 [9:00-18:00] 副題 担当	クリニカルクラークシップ 消化器内科病棟 (2 - 6) 病棟担当患者の診療ほか
第 22 回 火曜日 [9:00-17:00] 副題 担当	クリニカルクラークシップ 消化器内科病棟 (2 - 6) 病棟担当患者の診療ほか
第 23 回 水曜日 [9:00-17:00] 副題 担当	クリニカルクラークシップ 消化器内科病棟 (2 - 6) 病棟担当患者の診療ほか
第 24 回 木曜日 [9:00-17:00] 副題 担当	クリニカルクラークシップ 消化器内科病棟 (2 - 6) 病棟担当患者の診療ほか
第 25 回 金曜日 [9:00-17:00] 副題 担当	クリニカルクラークシップ 消化器内科病棟 (2 - 6) 病棟担当患者の診療ほか 学習発表会